



認知症家族教室



4月21日（土）に認知症家族の集い「あゆみの会」（旧認知症家族教室）を開催し、今回は参加者12名が2班にわかれ意見交換を行いました。

始めに、病棟の看護師から「認知症の方の世界に身をおいてみよう」をテーマに、行動・心理症状についてお伝えし、それぞれのご家族の体験談、苦労話や家族への思いなどを各々話して頂きました。「これからどうなっていくか不安が大きくて・・・」という入院間もない方のご家族の発言に「今は自分自身の気持ちをゆっくり休めて、徐々に現実を受け入れていくしかないですよ」、「同じような不安があったけど、入院してすごく穏やかに面会できるようになったので、大丈夫ですよ」と家族同士で意見交換や、アドバイスをされる場面もありました。

また、参加後には「患者の目線と介護する側の目線と両方見ることが大切だと思った」「誰にも話せなかったことをこの場では話せてスッキリした」「このような場にもっと参加して知識や考え方を身につけたい」などの感想が聞かれました。

今後も、家族同士が意見交換でき、繋がる場として「あゆみの会」を継続していければと考えています。